

(別紙様式)

# 令和4年度 学校自己評価システムシート ( 県立吹上秋桜高等学校 )

目指す学校像	生徒の新たなチャレンジをとことん支援し、可能性を伸ばす生徒応援学校
--------	-----------------------------------

重点目標	1 「授業がいのち」を基盤とした基礎学力の定着と魅力ある授業づくり 2 基本的な生活習慣及び規範意識の確立と自立に向けた生徒支援の充実 3 キャリア教育の充実による進路意識の向上と個に応じた指導の実践 4 地域の関係機関と連携し、地域に根差し信頼される開かれた学校づくり
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	9名

学 校 自 己 評 価					年度評価 ( 1月 16日 現在 )	
年 度 目 標					年 度 評 価	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	<p>&lt;現状&gt; 生徒は成績優良者と未修得者の2極化傾向がみられる。今年度から授業時間の確保を目的とした日程変更を行っている。</p> <p>&lt;課題&gt; ・日程変更、1年次の観点別評価の適切な効果的運用を行う。 ・個別の指導を充実させ成績優秀者を増加、未修得者を減少させる必要がある。 ・基礎学力が十分定着していない生徒、学習意欲が低い生徒がいる。 ・教育活動へのICT活用の促進が必要である。</p>	ICTを活用するなど、「個別最適な学び」を推進して魅力ある授業づくりを行い、基礎学力の定着をはかる。	①年2回の授業参観週間での研究協議の充実を図る。 ②「個別最適な学び」に向けたICT活用を推進する。 ③年次と各教科が連携した生徒の状況把握と面談・集会を通して生徒の意欲の向上を図る。 ④学期末に成績・出席不良者向け面談の機会を作る。 ⑤生徒の学習環境の整備・運用が適切に行う。	①生徒アンケートの授業評価(昨年度比)①効果的な研究協議会の実施と取り組み状況 ②職員研修会の実施状況(昨年度比) ③ICTを活用した教員数と取組状況(昨年度比) ④年次・教科でのグループクラスルーム(GC)の活用 ⑤各教科での学力向上の取組実施 ⑥基礎学力を高める教材の再検討 ⑦④未履修率、未修得率(昨年度比) ⑧日課変更の適切な運用 ⑨全生徒のBYOD、GC参加等の環境整備 ⑩生徒向タブレット端末への対応を検討	●ICT活用と授業改善は進むが、未履修者は増加 ①生徒アンケートはほとんど前年度を上回る好評価。教員の授業参観を2回実施、参加者62名で15名増。 ②職員研修会を2回実施。グループクラスルーム(GC)に全生徒が参加。 ③三者面談を全年次で2回実施。個別指導。基礎学力向上の教材の検討は不十分。 ④前期末履修率23%未修得率29%、昨年度(17%、28%)より増加。学期末成績不良者指導を実施。成績優良者は31%(30%)増加 ⑤行事精選等で年間授業実施日が16日増加。日課変更とチャイム導入。全クラス・教科でGCを作成。導入端末の仕様・業者選定完了。	B
2	<p>&lt;現状&gt; 多くの生徒は落ち着いた雰囲気の中で授業を受けており、心の悩みを抱える生徒への支援も積極的に行われている。整容指導は改善傾向である。</p> <p>&lt;課題&gt; ・基本的な生活習慣や規範意識が確立されていない生徒がいる。 ・自立に向けた指導に加え個別支援が必要な生徒や行事等で他者との協働が苦手な生徒がいる。 ・校舎内外の美化と感染防止策、体調管理の習慣化することが必要である。</p>	⑦生徒の身なりや言葉遣いを含めた基本的な生活習慣及び規範意識を確立する。 ⑧生徒の自立に向けた生徒支援の充実と学校行事等を通じた他者との協働を促進する。	①登下校巡回指導、挨拶等を組織的に行う。 ②身だしなみを整えて学校生活を送ることを推進する。 ①生徒支援のための「チーム学校」としての組織的対応を充実する。 ②外部機関と保護者の円滑な連携を促進する。 ③感染防止しながら各行事を生徒中心に企画運営する。 ④部活動を活性化させる。	①特別指導件数(昨年度比) ①遅刻率・欠席率(昨年度比) ②年次と協力して集会等で意識向上と組織的な指導 ①②研修会やケース会議の実施状況 ③各行事の実施状況 ④生徒アンケートの結果(昨年度比) ④部活動加入率の増加(昨年度比)	●特別指導件数は減少、中抜け遅刻は微増 ①年間で登下校巡回指導を実施。特別指導件数9件11人に減少(昨年度16件30人) 遅刻率10%、出席率82.5%(9%、84%)で低下。 ②集会・HR等で身だしなみ指導を実施 ●外部機関・保護者と連携強化 ①ケース会議を20回開催。福祉・医療・相談機関による校内相談会を実施。 ②不登校生徒等を福祉機関に繋ぎ支援拡充。「支援シート」を使い中学校との連携強化。 ③体育祭、文化祭を保護者参加で実施。 ④5部が全国大会出場(昨年4部)。部活動加入率29%(1/13時点)	B
3	<p>&lt;現状&gt; 各生徒・年次に応じたキャリア教育を体系的に行っている。ただ、希望の企業に就職できない生徒や離職する生徒も一定数存在する。</p> <p>&lt;課題&gt; ・進路選択のミスマッチを減らすためのキャリア教育の充実と外部機関との連携を強化する。</p>	キャリア教育の充実と生徒一人一人にあった進路指導を実践する。	①1・2年次は意識高揚、3・4年次は進路決定に向けた指導を充実させる。 ②進路情報を適時に提供を実施する。 ③就労体験を推進する。 ④進路実現に向け、個別面談や進路検討会を有効に活用する。 ⑤ハローワーク、大学・専門学校等との連携を強化する。	①進路計画にしたがい、各行事の適切な実施 ②「進路の手引き」「広報誌」等の発行(昨年度比) ③インターンシップ・ボランティアへの参加者数(昨年度比) ④進路検討会の実施 ④⑤第一希望実現率、進路未決定者数(昨年度比)	●組織的な進路指導と個別指導の両立 ①職業別ガイダンス、進路バス見学会、進路別ガイダンス、合同相談会を実施。 ②進路の手引き発行、PTA広報誌で情報提供 ③インターンシップ4名参加(昨年5名) ④⑤ハローワークと連携強化、三者面談を2回実施。進路内定者：就職46名(昨年34名)第1希望内定者33名、大学短大11名(19名)、専門学校28名(26名)	A
4	<p>&lt;現状&gt; 学校説明会への希望者、HPへのアクセス数は増加している。PTA活動、地域との連携を再開し始めている。</p> <p>&lt;課題&gt; ・広報活動、HPへの情報掲載などの工夫・改善する。 ・学校説明会等の業務改善、PTA活動の再構築と行事を精選し、職員の働き方改革に繋げる。</p>	⑦本校の教育活動の特色を積極的に発信する。 ⑧PTA活動の再構築と地元地域との交流を促進する。	①学校紹介動画の作成、学校・説明会情報を適時にHPへ掲載する。 ②広報業務の効率化を図るとともに、中学校への情報提供方法を検討する。	①動画を作成 ①HP更新回数、説明会参加者数(昨年度比) ②業務効率化の実施 ②新たな方法で中学校への情報提供 ①行事への保護者の参加数(昨年度比) ②発信ツールの安定的運用 ③通学路清掃の実施と参加状況(昨年度比) ③「秋桜だより」の発行回数(昨年度比) ④学校新聞の回覧地域を拡大する。	●広報活動の工夫で参加者増と業務改善 ①学校紹介動画に加え、体育祭・文化祭動画を制作、説明会・HPで公開。4回の説明会参加者67組増加。HPへのアクセスも多数。 ②業務効率化のためHPでの申込みとした。 ●通常のPTA活動再開、行事に多数参加 ①体育祭、文化祭は保護者公開して実施。多くの保護者が参加。 ②発信ツールとして新配信ツールを導入。 ③④通学路清掃を実施。臨時に校内側溝清掃を有志PTAが実施。「秋桜だより」5回発行。	A

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和5年 2月 2日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>・きめ細やかな指導を継続して、ICT活用を進めてほしい。</p> <p>・ICT活用によって「見える化」するので、生徒同士の意見交換が必要になってくる。</p> <p>・ICT活用は、道具としての活用、成果としては生徒が自分の考えを表現し、他者の意見を簡単に見えるようになった。活用するアプリ、ソフトが重要。</p> <p>・生徒が減っている中で、説明会参加者が増えているのはすごいことである。</p>	
<p>・生徒の生活習慣の確立が一番大切なところで、一貫した指導をしてほしい。校外の者から見ると特に問題はない。</p> <p>・女子生徒に積極的で言葉遣いの良い生徒が多い感じがする。</p> <p>・服装、髪型は普通の生徒が増えている。声をかけると明るく対応してくれて良い。</p> <p>・特別指導が少ないのは良かった。</p> <p>・生徒指導に関して、地域への要望があれば言ってほしい。</p> <p>・5年間見ているが、先生は親身になって指導していると感じるので、生徒の良さを伸ばして欲しい。</p>	
<p>・なるべく進路を早く意識させることが大切。将来について未定の生徒が増えているので早めの指導が必要。</p> <p>・1、2年次の進路未定者が多いので、この時期に仕事について、例えば、保護者や卒業生などから身近に話しを聞く機会を作ったらどうか。</p>	
<p>・生徒が活躍する場面を増やし、それを発信してPRして欲しい。</p> <p>・中学生と一緒に活動するなど、合同イベントができるとうい。</p> <p>・生徒会本部和私達PTAの話し合いができたのは良かった。</p> <p>・PTAが日の出門からの通学路清掃を実施した。今後も協力できるところはしていく。</p>	